

計画策定年度	平成23年度
計画主体	住田町

住田町鳥獣被害防止計画

<連絡先>

担当部署名 住田町役場産業振興課
所在地 岩手県気仙郡住田町世田米字川向96-1
電話番号 0192-46-2111
FAX番号 0192-46-3868
メールアドレス sangyou@town.sumita.iwate.jp

1. 対象地域、計画期間及び対象鳥獣

対象鳥獣	ニホンジカ、ハクビシン、カモシカ
計画期間	平成23年度～平成25年度
対象地域	岩手県住田町

2. 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止に関する基本的な方針

(1) 被害の現状（平成22年度）

鳥獣の種類	被害の現状	
	品目	被害数値
ニホンジカ	水稲	142万円 1.2ha
	野菜（ダイコン、ワサイ、他16品）	260万円 1.1ha
	飼料作物	3万円 0.1ha
カモシカ	水稲	38万円 0.3ha
	野菜（ダイコン、ワサイ、他10品）	175万円 0.6ha
	豆類	14万円 0.6ha
	キノコ（シイタケ）	12万円 398本
ハクビシン	野菜（イチゴ、トマト、トウモロコシ）	350万円 0.8ha

(2) 被害の傾向

<p>ニホンジカとカモシカは、水稲の移植後及び収穫前の被害が多く、生育期間中でも圃場への侵入による被害が多数出ており、野菜については、生育中の葉や茎が食害が多数出ている。</p> <p>また、カモシカ特有の被害として、居宅付近の小さな圃場（特に豆類）への食害や、森林やシイタケの原木の皮を剥ぐ等の被害が多数出ている。</p> <p>ハクビシンについては、トウモロコシや果樹類への被害が急増しており、特に防護網の杭等をよじ登り圃場内に進入し、被害に遭うケースが多数出ている。</p> <p>住民への被害調査によれば、いずれも人里に近い生息エリアとしており、夜間庭先を往来している報告を受けており、特にハクビシンについては、居宅等の屋根裏に侵入し住みかになっているケースも報告を受けている。</p>

(3) 被害の軽減目標

指標	現状値（平成22年度）	目標値（平成25年度）
被害金額	994万円	695万円
被害面積（水稲・野菜・飼料作物・豆類）	4.7ha	3.2ha
被害本数（シイタケ）	398本	278本

(4) 従来講じてきた被害防止対策

	従来講じてきた被害防止対策	課題
捕獲等に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・わな免許取得者新規掘り起こしを目的とした住民への周知広報活動 ・地区猟友会への委託による里ジカの早期発見やハクビンシン等小動物用の箱わな設置など、有害捕獲が迅速に行われるような体制整備 ・ニホンジカ有害捕獲実績 (H20:30頭 H21:71頭 H22:74頭) 	<ul style="list-style-type: none"> ・猟友会員の高齢化が進んでおり、ハンターの新規掘り起こしが急務の課題となっている。 ・行政、住民、関係団体が一体となった効果的な有害捕獲対策の整備
防護柵の設置等に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・シカ防護網の設置(H20:3,550m、H21:4,200m、H22:5,750m) ・電気牧柵の設置(H20:0m、H21:2,300m、H22:3,460m) 	<ul style="list-style-type: none"> ・食害被害の拡大による侵入防止策 ・既設資材の老朽化 ・他の防護対策との連携体制の強化

(5) 今後の取組方針

町の面積約3万3千haのうち耕地面積の割合は3%であり、農家は山間に点在する狭い農地を利用して耕作している。しかし、食害による耕作意欲の衰退等により耕作放棄地の増加が深刻化している。

そのため、食害による耕作意欲の衰退を防ぐことが、耕作放棄地の防止と解消、安定した生産活動につながる一助となることから、有害捕獲や集落での協同作業により、ニホンジカ等が人里付近に生息させない環境作りを行う。

3. 対象鳥獣の捕獲等に関する事項

(1) 対象鳥獣の捕獲体制

地区猟友会への活動委託により、里ジカの早期発見及び迅速な有害捕獲の実施ができるよう体制を整備している。また、わな免許取得者の新規掘り起こしを目的として、住民に対し広報等を活用した周知を行いながら、「自ら農作物を守る」という意識付けがなされるよう取り組んでいるところである。

(2) その他捕獲に関する取組

年度	対象鳥獣	取組内容
平成23年度	ニホンジカ等	わな免許取得者新規掘り起こしを目的とした講習会開催の広報活動。箱わなの購入。
平成24年度	ニホンジカ等	わな免許取得者新規掘り起こしを目的とした講習会開催の広報活動。箱わなの購入。
平成25年度	ニホンジカ等	わな免許取得者新規掘り起こしを目的とした講習会開催の広報活動。箱わなの購入。

(3) 対象鳥獣の捕獲計画

捕獲計画数等の設定の考え方
第3次シカ保護管理計画において、五葉山地域における適正生息数 2,000 頭に対し、実際の生息数はそれを上回る 5,100～7,000 頭で推移しており、防護網設置等の被害防除対策と同様に、捕獲による個体数管理も継続して実施する必要がある。 また、平成25年に五葉山地域の保護区を縮小し、捕獲場所を増やす計画があることから捕獲頭数の増頭を検討する。

対象鳥獣	捕獲計画数等		
	平成23年度	平成24年度	平成25年度
ニホンジカ	75頭	75頭	100頭
ハクビシン	80頭	80頭	80頭

捕獲等の取組内容
・銃器及びわなによる有害捕獲の実施。 予定時期 3月～10月 予定場所 住田町地内

(4) 許可権限委譲事項

対象地域	対象鳥獣

4. 防護柵の設置その他の対象鳥獣の捕獲以外の被害防止施策に関する事項

(1) 侵入防止柵の整備計画

対象鳥獣	種 類	整備内容		
		平成23年度	平成24年度	平成25年度
ニホンジカ等	防護網	13,000m	4,000m	4,000m
ニホンジカ等	電気牧柵	2,500m	1,500m	1,500m

(2) その他被害防止に関する取組

年度	対象鳥獣	取組内容
平成23年度	ニホンジカ等	侵入防止柵の保守点検を行う 一定の時期に町内各地で山麓部分の刈り払いを行う
平成24年度	ニホンジカ等	侵入防止柵の保守点検を行う 一定の時期に前年度より更に山際部分の刈り払いを行う
平成25年度	ニホンジカ等	侵入防止柵の保守点検を行う 一定の時期に前年度より更に山際部分の刈り払いを行う

5. 被害防止対策の実施体制に関する事項

(1) 被害防止対策協議会に関する事項

被害防止対策協議会の名称	住田町鳥獣害防止総合対策協議会
構成機関の名称	役 割
住田町産業振興課	協議会事務局、全体総括
大船渡市農業協同組合	農業分野における取りまとめ及び意見提言
高田猟友会	有害捕獲活動等に関する取り組み及び意見提言
気仙地方森林組合	林業分野における取りまとめ及び意見提言
住田町農林業振興会連絡協議会	被害状況報告、事業実践者
住田町農業振興協議会	町内農業者との連携、事務局補助
住田町林業振興協議会	町内林業者との連携、事務局補助
鳥獣保護員	野生動物保護視点における意見提言

(2) 関係機関に関する事項

関係機関の名称	役 割
沿岸広域振興局農林部 大船渡農林振興センター	農林業対策における指導、助言
沿岸広域振興局保健福祉環境部 大船渡保健福祉環境センター	有害捕獲等における指導、助言

(3) 鳥獣被害対策実施隊に関する事項

組織はしない

(4) その他被害防止施策の実施体制に関する事項

6. 捕獲等をした対象鳥獣の処理に関する事項

本町には希少猛禽類等も多く生息していることから、シカ猟等による鉛中毒事故が発生しないよう捕獲後の個体は原則持ち帰って処理をし、やむを得ない場合は生態系に影響を及ぼさないよう埋設等の処理を地区猟友会に対しお願いをしている。

なお、捕獲した個体の下顎及び腎臓等は試料として県に提出を行っている。

7. その他被害防止施策の実施に関し必要な事項

刈り払いを既設資材の交換と同時期に行うことにより、防護網の管理体制が確立され、「住民自らが防止する」という意識の高揚を図る。